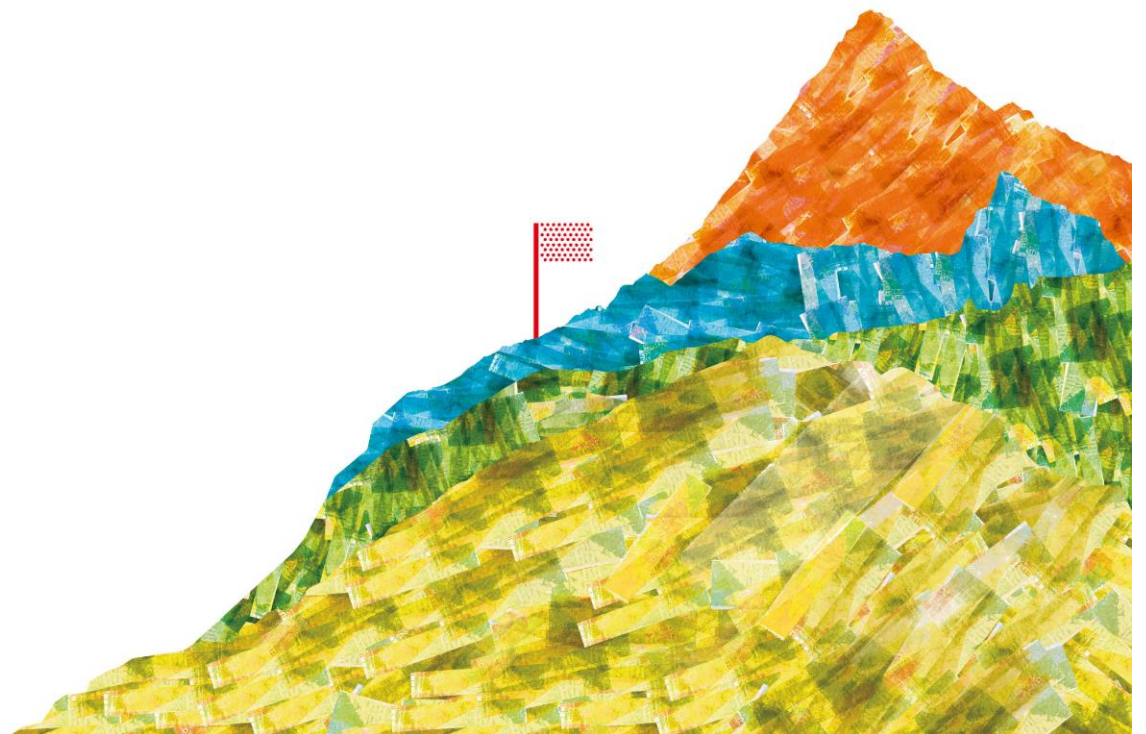


令和3年度 事業報告書

(なんぶエリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和3年度事業報告書（なんぶ エリア）

1 令和3年度総括（成果、反省等を簡単に）

昨年から続く新型コロナウイルスの災禍の中、安定した事業運営を継続するために感染対策を徹底して取り組んだ1年となった。特に導線の分離や過密事業所の移転など大掛かりな設備投資も行った。利用者や家族、ボランティアの方々には面会制限が続くなど、ご不便をお掛けすることがあったが、利用者には苑での生活に不満が生じないよう、各事業所単位で工夫を凝らした催しを行った。年度後半には市内での感染が拡大し、関係職員の出勤停止措置を採ることが度重なったが、感染委員会の活動を中心に、施設内での感染を起こすことはなかった。今後、ウイズコロナの関わり方について検討していきたい。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む）

<新型コロナウイルス、災害対策>

新型コロナウイルスの感染対策とあわせ災害（大雨）対応に備えた。毎年高齢者避難指示級の警戒水位超えが発生しており、水防訓練も実施した。役職間では常時エリア内の感染状況や災害情報を SNS で共有し、業務の判断に役立てている。

<社会貢献>

社会貢献事業として永江団地のコミュニティ活性化策について行政・住民との課題検討を継続的に行った。その一環として I O T による安否確認システムをツールに高齢者見守りに取り組んだ。なんぶ幸朋苑のデイハウス、包括支援センター、ホームヘルプ、ケアプラン、の待機職員による一時的対応と駐在（110番）を加えた二次的対応をモデル事業として実施している。今後広域の展開に繋げたい。

<事業>

- (1) 鳥取県と協定し、米子市永江の県営住宅内に小規模多機能型居宅介護事業所「デイハウスながえ」を4月に開設し、高齢化が進む介護の空白地域に進出した。県営住宅の目的外利用は鳥取県としても初めての試みとなった。また同地域において米子市委託のフレイル対策モデル事業を継続して行い、この取り組みによる成果は市内に拡大していく契機となった。
- (2) 鳥取大学訪問看護連携（T-HOK）を4年4月から開始することで合意した。まず鳥取大学から訪問看護師の出向職員を受け入れてスタートすることとなった。
- (3) ミモテ記録システム：介護老人福祉施設、介護老人保健施設では、4月より本格的に I C T ミモテシステムの運用を始めている。介護の質向上と業務の生産性・効率性の向上の推進を図っていく。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 新型コロナ下において、特に通所サービスやショートステイ等在宅利用者サービスの安定的な稼働率の維持に腐心した、また施設サービスにおいては民間高専賃や介護医療院等の新設により選択肢が広がり、老人保健施設入所者の安定的確保は年々難しくなっており、病院や居宅事業所訪問するなど稼働率アップの対策を行っている。
- 2) また引き続き地域的ニーズの高いデイサービスの重度化対応、予防事業・支援総合事業・フレイル対策モデル事業に力を入れた（高齢化率市内最高、要介護率市内最低）。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和3年度（%）	令和2年度（%）	令和元年度（%）
介護老人福祉施設	80	98.5	99.3	99.4
ユニット型介護老人福祉施設	24	99.1	99.1	99.1
介護老人保健施設	36	75.9	80.4	83.2
ユニット型介護老人保健施設	44	79.6	83.6	83.0
ケアハウス	50	97.7	96.9	98.7
グループホームなるみ	27	99.7	98.7	99.4
デイハウスごせんごく	29	81.0	84.3	93.0
デイハウスくずも	25	71.0	108.9	84.6
ビスターレごせんごく	10	99.6	98.0	98.7
生活支援ハウス	20	78.2	77.5	92.0

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> ○供養会 ○年忘れ会（なるみ） ○新年会 ○長寿を祝う会 ○除草作業 ○防災避難訓練 ○水難防災避難訓練 ○さくら保育園とさつま芋づくり（なるみ） ○くずも夏祭り（DHくずも）
エリア内研修状況	<ul style="list-style-type: none"> ○防災 ○エルダー発表 ○排泄 ○リスク（剥離 骨折） ○リスク（服薬） ○救急法 ○看取り ○食事 ○認知症 ○姿勢・褥瘡 ○身体拘束・虐待 ○感染症 ○法令遵守 ○口腔ケア ○ノーリフティング ○接遇 ○労働災害 ○健康講座 ○安全衛生管理 <p>エリア内延べ人数：285名 部署内延べ人数：1086名</p>
エリア内会議、委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> ○なんぶ幸朋苑エリア内調整会議 ○衛生委員会 ○職員会議 ○ISO委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○ケアプラン委員会 ○食事検討委員会 ○研修委員会 ○排泄検討委員会 ○地域交流委員会 ○褥瘡予防 ○感染予防対策委員会 ○なんぶ幸朋苑エリア看護師会 ○リーダー会 ○チーム会 ○在宅会議 ○ノーリフティング委員会 ○ケアカンファレンス会議（随時） ○苦情解決第三者委員会 ○ふれあいの橋の会 ○身体拘束等適正化委員会
委員会活動等の成果・実績・反省	<ul style="list-style-type: none"> ○看護師会：感染予防では、コロナウイルス関係等の情報共有や予防策について周知と、手洗いチェッカーを実施し自己評価結果を事業所別

	<p>にグラフ化し発信、啓発に努めた。薬関連では、誤薬件数が減らず、事例毎の対策を毎回共有しているが、基本的な服薬手順や薬に対する意識付けを次年度は継続して発信していく必要を感じた。職員育成に関して、エリアに新人教育として使用できる資料がなかった為、新人(中途)職員向けのテキストと補足資料を作成した。</p> <p>○在宅会議：在宅各サービス事業所責任者が情報共有・提供し地域包括ケアの基盤整理を実施(毎月)各サービスの稼働状況を共有し各サービスが連携した困難事例の解決策など検討した。事例検討などを通じて効果的なパッケージプランを今後検討する為の足掛かりとした。</p> <p>○なんぶ幸朋苑リスク委員会：ヒヤリ・事故についての検討(毎月)、エリアリスク委員会を中心にエリア内の3レベル事故、服薬関連事故、ご意見報告について要因分析、再発防止策の有効性について検討を行った。対前年比：(転倒150%)、(苦情35%)、薬関連(173%)。薬関連の是正が毎月のように発生。服薬手順の怠りやダブルチェックの確認を作業的に行うや、記録の後書きなどが原因。エリア全体へ注意喚起と基本の振り返りを啓発。3レベル事故について、自立度の高い方の骨折も多く、定期的な環境の見直しや福祉用具の使用、履きやすい靴の使用などを再発防止策として共有し予防に努めた。</p> <p>○エリア研修委員会：基礎研修は、新人職員をはじめ、勤務5年未満の職員を対象として行い、介護基準書の確認と理解を図った。また、各事業所のリーダー層が中心となって講師を努めることで「指導できる中堅層」の育成を図ることができた。エリア内での月例研修では事業所運営上必要な内容に加え、職員の健康増進に資する内容として事業所の医師から健康診断内容～再検査の重要性、生活習慣の改善に対する講義を行なった。コロナ禍の影響により集合が難しく、各事業所への資料提供に留まるカテゴリーもある為、with コロナとしての対策検討の必要がある。</p> <p>○苦情解決第三者委員会：今年度の苦情解決第三者委員会の開催は新型コロナウイルス感染拡大の為10月15日の1回のみ実施された。</p> <p>○地域交流委員会：前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もありボランティアの受け入れ、職員の地域活動参加が制限されている。このような状況の中でも感染状況が落ち着いたところで一時的に制限を緩和し、来苑者のワクチン接種状況の確認、感染対策を徹底しボランティアの受け入れを行っているが、受け入れ期間も短かったこともあり、例年に比べても来苑者数は大幅に減少している。</p>
--	--

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	<p>○米子高校2年『生活と福祉』 矢倉・作野・執行・富永 ○米子高校3年『職務の理解』 『学習到達振り返り』 富永 ○鳥取大学医学部附属病院・在宅医療推進看護育成研修講師 『看取り研修:地域・在宅での死を考える』 武良 ○西部在宅ケア研究会世話人会 世話人 武良 ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良 ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良 ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良 ○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良 ○YMCA 米子医療福祉専門学校 外部講師 射場・藤原 ○米子市地域リハビリテーション活動支援事業 執行 ○高齢者健口機能向上支援事業 執行 ○介護予防口座 原 ○痰吸引演習講師 大野 ○介護職員初任者研修 講師 15名 ○実務者研修 講師 15名 ○家族向け初任者研修 講師 11名</p>
<p>外部役職就任状況</p>	<p>○鳥取県介護ロボットのニーズ・シーズ連携強調協議会 委員 山中・原 ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良 ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良 ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良 ○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良 ○日本認知症予防学会代議員 伊藤</p>
<p>外部表彰受賞状況</p>	<p>○優良従業員会頭表彰: 細田小 ○全社協会長表彰 (永年勤続功労): 西岡 ○県社協会長表彰 (社会福祉施設功労者): 亀井 中井 尾澤 山西 谷野 布部 伊藤 ○米子市社協会長表彰 (永年在職施設職員): 宮田 国谷 大野 森上 安藤 遠藤 秦野 森尾 高塚 山根 中村</p>

7 地域貢献実績 (保育所含む)

<p>実習受け入れ実績 延人数 360 人</p>	<p>○島根総合 ○YMCA 米子医療福祉専門学校(介護、PT、OT) ○介護実習科 ○実務者研修 ○鳥大保健学科 ○鳥取看護大学 ○米子医療センター看護学生 ○神戸常盤短期大学 ○鳥取市医療看護専門学校 ○T-HOC ○松江総合医療専門学校</p>
--	--

<p>ボランティア受け入れ実績 延人数 36 人</p>	<p>○脳トレ ○習字 ○読み語り ○喫茶 ○大正琴演奏 ○門松作り ○もちつき ○生活支援 レク ○ふれあいの橋の会 ○クリスマス会演奏 ○外出（紅葉）○生け花</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 28 人</p>	<p>キッズさくら保育園</p>
<p>地域交流活動実績 1 実施回数 4 回 延人数 108 人</p>	<p>（事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業） ○支え愛カフェ永江 ○五千石相談カフェ ○サツマイモ苗植え サツマイモ芋ほり</p>
<p>地域交流活動実績 2 実施回数 回 延人数 人</p>	<p>（地域の交流事業に利用者と共に参加したもの） 実績なし</p>
<p>ボランティア・環境活動 参加実績 1 投入人数 92 人</p>	
<p>ボランティア・環境活動 参加実績 2 投入人数 191 人</p>	<p>（見守り活動・学校活動の手伝い等） ○成実小学校通学児童交通安全見守り（毎日）</p>
<p>地域発信活動実績（介護、 看護の日、イベント開催 等）</p>	<p>実績なし</p>
<p>地域発信活動実績（認知症 サポーター養成講座）</p>	<p>○特養では生活の様子を新聞形式で公民館や学校 コンビニ 図書館 などに掲載した。その他は新型コロナ感染防止のため開催出来ず。 ○グループホームなるみ「なるみ通信」を毎月発行 小学校、2 か所の 保育園、薬局、スーパーに掲示</p>
<p>地域発信活動実績（講習 会、講演会の主催及び参加等）</p>	<p>○永江やってみらいや塾 ○成実やってみらいや塾 ○なごみロード花いっぱい運動 ○新山サロン ○石井サロン ○榎原サロン ○奈喜良サロン ○福市ビタミンサロン ○八幡サロン ○五千石カフェ ○永江2区東サロン ○尚徳地域介護医療ケアカフェ（薬剤師・サービス事業所・居宅・クリ ニック看護師・包括） ○自立支援型ケア会議（専門職・リハビリ PT, OT, ST, 管理栄養士・薬 剤師・居宅・包括） ○ショッピングリハビリ ○尚徳地区 後期高齢者口腔モデル事業</p>

	<ul style="list-style-type: none">○新規事業～永江フレイルモデル事業3年目○永江県営住宅見守り活動○「永江を考える会」県、市、住民、こうほうえん、包括参加
--	--